

令和5年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立東井高野小学校

令和5年4月

大阪市立東井高野小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査、大阪市小学校学力経年調査の児童質問紙の「学校のきまりを守っている」「人の役に立ちたい」「自分には良いところがある」という規範意識、自己肯定感には課題がある。【安全・安心な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】の向上にはキャリア教育の充実を図り、一人ひとりの良さを伸ばす取り組みをする必要がある。
- 生活指導上の課題として不登校児童問題がある。家庭や関係諸機関と連携する必要がある。また、いじめに関する意識は「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の肯定的な回答は充分ではない。児童のいじめに対する意識の高揚が必要である。
- 大阪市小学校学力経年調査の結果の標準化得点では 95～105 ポイントの中で推移し、また、全国学力・学習状況調査でも全国平均とは開きがあり、学習内容の定着、基礎・基本の定着に課題があることがわかる。自主学習の確立や読書活動を充実していく必要がある。また、無回答率の多さからも学習に対して無関心である児童だけでなく、さらに家庭も無関心であることが多いことも考えられる。そこで、「わかる」授業を積み重ねることで学習に対しての意欲や関心を高めることが大切であると考えられる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点では男女とも全国平均を上回っている。これまでの体育科学習の積み重ねの成果と考えられる。また、広い運動場や一部の芝生化など、これらを活用して日頃から遊び・運動に親しむ機会が多いことと、地域での活動が功を奏している。一方で下回っている種目もあるため、それらが課題として考えられる。
- 教育活動に ICT 機器を導入し授業や学校活動に活用してきた。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組の一環として一人一台端末を授業配信や生活指導に学校や家庭で使用している。しかし、一人一台端末以外の ICT 機器の有効的な活用方法や一人一台端末の使用方法、情報モラルなどの課題があり、今後は、より良い活用を構築することが必要である。
- 教育委員会と学校がともに取組を着実に推進し、教職員の長時間勤務の解消を通じ、教職員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができ、子どもたち一人ひとりに向き合う時間の確保が課題である。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を55%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回る。
- 令和7年度末の校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を100%にする。
- 令和7年度末には、「ゆとりの日」を週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。
- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書週間の形成を図る。
- 令和7年度末の校内保護者調査における「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小学校）

- 大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94.7%）以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査96.8%）にする。
- キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
- 校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査97.8%）にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小学校）

- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度水準（昨年度同調査40.5%）にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（昨年度同調査79.4%）以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を72%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。
- 校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回るようにする。
- 校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査97.1%）にする。
- 校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94%）以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小学校）

- 校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を前年度（前年度同調査82.9%）以上にする。
- 「ゆとりの日」を月2回以上設定する。学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に3日以上設定する。

#### 学校園の年度目標

- 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書習慣の形成を図る。
- 令和7年度末の校内保護者調査における「学校は家庭・地域との連携を密にとっている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を前年度水準（前年度同調査97.3%）にする。

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【安全・安心な教育の推進】</b> <b>全市共通目標（小学校）</b> ○大阪市小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。 ○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <b>学校園の年度目標</b> ○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しい」に対して肯定的に回答する児童の割合100%をめざす。 ○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94.7%）以上にする。 ○大阪市小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○大阪市小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査96.8%）にする。 ○キャリア教育の充実に向け、児童の発達段階に応じ社会見学や出前授業を実施し、大阪市小学校学力経年調査における「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。 ○校内調査における「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準（前年度同調査97.8%）にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】</b> いじめ（いのち）について日々の学校生活の中で考える機会を設定し、「いじめはぜったいにいけないことだ」という意識を高める。 指標 「いじめ（いのち）について考える日」を学期に1回設定し、「いじめはぜったいにいけないことだ」という意識の高揚を図る。	
<b>取組内容②【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】</b> 児童会行事の充実、児童のたて割り（異学年交流）活動の充実を図り、児童にとって楽しい学校生活ができるようにする。 指標 児童会を中心にがんばったことや良いことを褒めて自己肯定感を高める週間を設置する。また、わかる授業や有意義な行事をすることで自他を認め合えるようにする。	
<b>取組内容③【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】</b> 安全で安心な学校生活ができるようあらゆる機会（児童朝会や学級活動）を通して、規範意識の高揚を図る。 指標 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査94.7%）以上にする。	
<b>取組内容④【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】</b> 社会見学や出前授業で新しい知識を増やし、児童がキャリアを考える機会を策定する。また、将来の夢や目標を持ち、自己有用感を持つとともに自他を尊重する心を育む。 指標 全学年で、社会見学や出前授業を年間1回以上実施する。また、学期毎や行事毎でキャリアパスポートや振り返りシートを活用する。	
<b>取組内容⑤【基本的な方向番号2、豊かな心の育成】</b> 体験学習の充実や系統立てた人権教育を通して、多様な価値観を知るとともに、互いに他を認め、人の気持ちを考えたり思いやったりする心を育む。 指標 体験学習（車いす体験など）を取り入れた共生教育の充実を図る。また、人権教育年間指導計画に基づいた取り組みを、各学年学期に1回以上行い、年度末に成果と課題を共有する。	

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（小学校）</b></p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度水準(昨年度同調査 40.5%)にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(昨年度同調査 79.4%)以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 72%以上にする。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 100%をめざす。</p> <p>○校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習（予習・復習など）をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 50%以上にする。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が男女とも全国平均を上回るようにする。</p> <p>○校内調査における「正しく手洗いをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準(前年度同調査 97.1%)にする。</p> <p>○校内調査における「いつもハンカチを身につけている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。</p> <p>○校内調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（前年度同調査 94%）以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>校内研究教科を昨年度に引き続き国語科とし、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業の充実と改善を図る。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)) (「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))</p> <p>指標 校内調査における「授業の内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 100%をめざす。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>計画的に系統立てた国語科のモジュール学習に取り組み、書く力へとつながる基礎・基本の定着を図る。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)) (「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))</p> <p>指標 国語科のモジュール学習を週1回実施することで学力の定着を図り、大阪市小学校学力経年調査における言語領域の漢字(読み書き)の正答率を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業で学習したことを振り返ったり、深めたりするためにプラスノートを活用する。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成)) (「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別の支援の充実))</p> <p>指標 校内調査における「学校で出された宿題以外に、自分で計画を立てて学習(予習・復習など)をしていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>理科の学習の中で、各学年の実態に合わせ、実験や観察などの体験的な学習を通し、興味・関心を高め、児童の参加感を大切に授業の充実と改善を図る。</p> <p>(理数教育の充実)</p> <p>指標 大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(昨年度同調査79.4%)以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>大阪市の派遣事業による外国人講師(C-NET)と連携を図り、児童が英語に対しての興味・関心を高められる学習活動に取り組む。また、児童が前向きな気持ちで学習に参加できるよう授業改善を図る。</p> <p>(英語教育の強化)</p> <p>指標 英語による絵本の読み聞かせを各学期に1回以上実施する。また、校内で2回の公開授業を行い、授業改善につなげる。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>運動に親しむ機会を設けたり、用具の充実を図ったりして、進んで体力づくりに取り組めるようにする。</p> <p>(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <p>指標 校内調査における「休み時間や体育の時間に楽しく体を動かすことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を前年度水準(前年度同調査91.3%)にする。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>“朝ごはんの大切さ”を知り、朝ごはんを食べると生活リズムが整うことや、1日の活動(学習することや体を動かすこと)への充実につながることを理解する。</p> <p>(健康教育・食育の推進)</p> <p>指標 “朝ごはんの大切さ”についての健康教育、食に関する指導を年間1回以上する。さらに、通信を1回以上発行し家庭へ啓発を行う。</p>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>手洗いやハンカチを身につける習慣がつくよう強調週間を設定し、健康保持に対する意識を高める。</p> <p>(健康教育・食育の推進)</p> <p>指標 保健美化委員会が中心となり活動する強調週間を年間1回以上実施することで、健康保持に対する意識を高める。</p>	

## 大阪市立東井高野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> <b>全市共通目標（小学校）</b> ○校内調査における「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合を前年度（前年度同調査 82.9%）以上にする。 ○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。また、学校閉庁日については、夏季・冬季休業中に 3 日以上設定する。 <b>学校園の年度目標</b> ○令和5年度の大阪市小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 ○「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校が連携をすることで、読書環境の整備と読書習慣の形成を図る。 ○令和5年度末の校内保護者調査における「学校は、学校だより・ホームページ等で、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている」に対して肯定的に回答する保護者の割合を前年度水準（前年度同調査 97.3%）にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向番号6、教育DX（デジタルフォーメーション）の推進】</b> （【基本的な方向番号1、安全・安心な教育環境の実現】） 学習者用端末を用いて、スクールライフノートや発達段階に応じたデジタルコンテンツを積極的に活用する。また、児童の取組を随時把握し、学級経営や学習指導にフィードバックさせる。 （ICTを活用した教育の推進）{（いじめへの対応）（不登校への対応）} <b>指標</b> 日々の活動を毎日スクールライフノートに記録させる。学習場面では学習者用端末を活用し、それらの内容を活用状況に応じ適宜確認する。	
<b>取組内容②【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。また、長期休業中は計画的に休暇等取得する。平素は ICT 機器を活用し、授業準備や生活指導などの業務の効率化を図る。 （働き方改革の推進） <b>指標</b> 年次有給休暇を 10 日以上取得、夏季・冬季休業日の閉庁日は 3 日以上設定するなどし、教職員の健康管理を行い、働き方改革に努める。	
<b>取組内容③【基本的な方向番号8、生涯学習の支援】</b> 児童の読書のきっかけづくりを、「朝の読書タイム」などを通し、家庭・地域と連携して行う。また、家での読書時間を増やしていけるよう、家庭への啓発を行う。 （「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組）（学校図書館の活性化） <b>指標</b> 週 1 回以上「朝の読書タイム」を行うとともに、年間 3 回（各学期 1 回）の読書週間をすることで、児童の読書への意欲を高める。また、保護者にも「大阪市子ども読書活動推進計画」の取組の周知をし、地域・保護者と連携して読書ができるようにする。	
<b>取組内容④【基本的な方向番号9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</b> 地域と保護者の朝の見守り隊や読書読み聞かせ隊など、学校・地域・家庭が連携する機会を設ける。また、学校協議会、はぐくみネット事業が学校の運営に参画し、連携を深める。 （教育コミュニティづくりの推進） <b>指標</b> 家庭には、教育活動の取組を毎月「学校だより」や、日々ホームページで配信し、参画できる機会を設ける。地域には、学校協議会やはぐくみネット事業が学校運営に参画できるよう連携を図る。	